

調べものの部屋には、中高生が調べものをするのに役立つ本など約1万冊があります。その中から3か月ごとにテーマを決めて選んだ本を、ウェルカム展示として入口で紹介しています。

※このリストは、展示時点で担当者が選んだものであり、テーマに関する網羅的な資料リストではありません。

## テーマ：船

「船」は人や物を乗せて水の上を颯爽と進む乗り物というだけではありません。水中に潜る、空を飛ぶなど、その機能を向上させながら、はるか昔から私たちの生活に深く関わり合ってきた存在でもあります。さまざまな視点と角度から「船」をご紹介します。

### ▶リストの見方

|     |                           |  |
|-----|---------------------------|--|
| No. | 書名<br>著者名(出版者, 出版年)【請求記号】 | 【 】の中は調べものの部屋の請求記号で、日本十進分類法 (NDC) を元にしていません。 |
|-----|---------------------------|--|

### ▶船のあゆみ

|   |  |   |
|---|--|---|
| 1 | 人類の歴史を作った船の本：乗りもの歴史図鑑<br>ヒサクニヒコ 絵・文 (子どもの未来社, 2016) 【550.2】                      | 主に川や湖、海などの水の上を移動する船の歴史を、「人類の歴史を作った船」「古代ヨーロッパの船の歴史」などの章立てで紹介しています。日本の船と世界の船を見比べたり、歴史上での船の役割を知ることができます。                     |
| 2 | 人類の歴史を変えた発明1001<br>ジャック・チャロナー 編, 小巻靖子, 松浦弘, 安藤貴子, プレシ南日子 訳 (ゆまに書房, 2011) 【507.1】 | 人類の歴史上の発明を紹介する本ですが、紀元前7500年頃の丸木舟から1980年代の再使用型宇宙船まで、船に関係する発明がのっています。木の幹をくり抜いた船から宇宙を飛ぶ船にいたるまで、目的や用途に沿ったいろいろな船が誕生したことがわかります。 |

### ▶船を知る

|   |  |   |
|---|--|---|
| 3 | 図説世界を変えた100の文書(ドキュメント): 易経からウィキリークスまで<br>スコット・クリスチャンソン 著, 松田和也 訳 (創元社, 2018) 【209】 | 探検家マゼランの航海の記録、ヨーロッパからアメリカに向かう途中のメイフラフ号の船内で署名された誓約、沈むタイタニック号から送信された通信文、宇宙船アポロ11号の飛行計画書など船に関連する文書について説明されています。                                  |
| 4 | 水中考古学：クレオパトラ宮殿から元寇船、タイタニックまで(中公新書)<br>井上たかひこ 著 (中央公論新社, 2015) 【202.5】              | 水中考古学とは水面下の遺跡や沈没船を発掘、保存、調査する研究分野とのことです。航行中に災難に遭い沈んだ船は数多く、地中海の難破船、九州北西部の元寇船など、著者が携わった調査研究が紹介されています。調査のための船も登場します (p.9など)。陸の上とはまた異なる考古学を学べる本です。 |
| 5 | どうして海のしごとは大なの?<br>「海のしごと」編集委員会 編 (成山堂書店, 2018) 【550】                               | 日本は島国であるため、船は漁業や貿易業に欠かせない存在です。その船を造る造船所や、海運を支える外航船、海難事故に対応する特殊作業船などを紹介しています。船長や航海士、船舶検査員の仕事などについても紹介があり、将来の仕事を考える際にも役立ちます。                    |
| 6 | 航路・旅客船の不思議と謎：船の航行にはどんなルールが!?<br>(じっぴコンパクト新書)<br>風来堂 編 (実業之日本社, 2018) 【683.3】       | 日本の海上を航行する旅客船のなかで定期的に同じ航路を運航して人を運ぶ「定期旅客航路」を中心に紹介する本。基礎知識からはじまり、船舶の施設・設備、歴史、雑学など多方面にわたっています。   |

### ▶船から見た地球

|   |  |  |
|---|--|--|
| 7 | スペースシャトル飛行記録 = the total number a space shuttle departed for a mission 完全版<br>村沢譲, 洋泉社編集部 編著 (洋泉社, 2014) 【538.9】 | 宇宙を飛ぶ船「スペースシャトル」の30年にわたる飛行記録をまとめた本。スペースシャトルの計画から始まり、シャトルから見た地球や船外活動を行う宇宙飛行士の様子の他、船内での生活や実験を知ることができます。日本人宇宙飛行士のインタビューもあります。                             |
| 8 | とっておきの空と海：海洋地球研究船「みらい」<br>柏野祐二, 堀E.正岳, 内田裕 著 (幻冬舎, 2014) 【452】   | 海洋研究開発機構の研究船「みらい」から撮影した写真集です。「みらい」は空と海を観測する船ですが、ラボや研究機器も備えた「洋上の研究所」でもあるそうです。地球を37周するほどの距離の観測航海を行ってきた (2014年1月1日現在) ともあり、海の動物たちや水平線上の虹など船からならでの写真が満載です。 |

### ▶古典文学にみる船

|    |   |  |
|----|---|--|
| 9  | 21世紀版少年少女古典文学館 第24巻<br>興津要, 小林保治, 津本信博 編, 司馬遼太郎, 田辺聖子, 井上ひさし 監修 (講談社, 2010) 【911.1-マン】  | 『万葉集 巻七』に、歌人 柿本人麻呂が空に浮かぶ月を、「月の船」として詠んだ歌があります (p.32)。   |
| 10 | 土佐日記 蜻蛉日記 とはづがたり (日本の古典をよむ; 7)<br>[紀貫之] [原著]; 菊地靖彦 校訂・訳, [藤原道綱母] [原著]; 木村正中, 伊牟田経久 校訂・訳, [中院雅忠女] [原著]; 久保田淳 校訂・訳 (小学館, 2008) 【915.3-トサ】 | 土佐日記は、歌人としても名高い紀貫之による「日記文学」です。土佐国司の一行である女性が赴任先の土佐から都に戻るまでの船旅の様子を記す形式になっています。悪天候による停泊の日々や、風波を取めるために海神に捧げものをする様子などから、当時の旅の大変さが伝わってきます。 |

過去の展示の資料リストは、当館HP上の「ウェルカム展示」に掲載しています。 (<https://www.kodomo.go.jp/use/room/teens/exh.html>)